

未来のインタラクティブコンテンツ

人・情報・空間 を繋ぐユーザインタフェース技術

電気通信研究所

教授: 北村 喜文

助教: 高嶋 和毅

研究室の案内

人々が快適に、または効率的・直感的に作業をしたり、円滑かつ豊かなコミュニケーションを実現するために、人と空間、そしてこれらと情報技術とのインタラクションを考慮して、インタラクティブコンテンツに関する研究を進めています。

様々なディスプレイを用いた動的空間インタフェース

空間デザインは私達の活動やコミュニケーションに強く影響を与えます。しかし、現状のオフィス等の空間デザインは、静的であり、様々な活動に動的に対応することはできません。本研究では、ロボティックディスプレイ、壁ディスプレイ、床ディスプレイなどを駆使して、人々の活動に合わせて最適な空間を提供する技術について検討しています。



VRにおける直感的な3次元オブジェクトの操作インタフェース

さまざまな情報コンテンツを的確に表示するディスプレイ装置と、これをうまく活用してコンテンツを利用するための3次元インタラクション技術の研究を進めています。本展示では、VR空間において、ブロックという知的玩具の考えを使った探索的な活動を生み出す直感的な3次元インタラクションについて検討しています。



ゲームを用いたジェスチャデータの取得システム

優れたジェスチャユーザインタフェースを設計するには様々な人々の様々なジェスチャデータを集める必要があります。本研究では、リズムゲームを応用することで、たくさんの人に楽しんでもらいながら、多くのジェスチャデータを自動的に収集するシステムを検討しています。



デバイス間の連携インタフェース

コンピュータ、スマートフォン、ラップトップなど複数の端末を利用しながら仕事することが自然になってきていますが、これらの端末間でのデータやアプリケーションの連携は十分ではありません。本研究では、タブレットやスマートフォンにあるカメラでアプリケーションウィンドウを撮影するだけで、そのアプリを持ち歩くことができる新たなインタフェースを検討しています。

